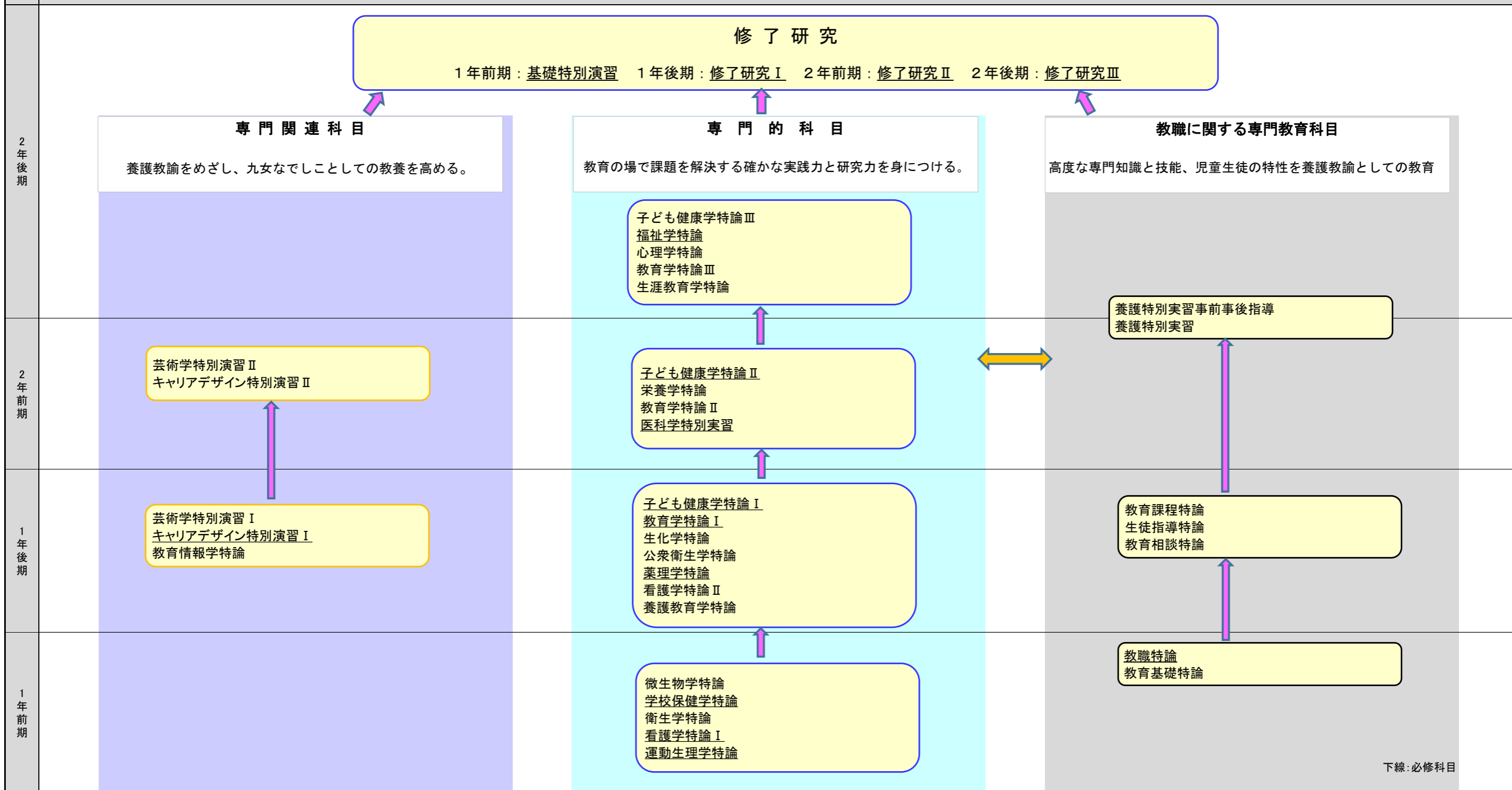


令和4年度入学生 専攻科子ども健康学専攻 カリキュラムフローチャート

修了方針

子ども健康学専攻では、習得した知識、技能、態度などを総合的に活用し、教育の場において自ら課題を発見し、研究し、それを創造的に解決することのできることを目指します。この基本理念のもとに、以下の基準を満たした学生に修了証書を授与します。

- 知識・理解** 1. 養護教諭としてふさわしい、高度な専門的知識と技能を身につけ、児童・生徒の特性や教育の本質を、養護教諭としての教育実践に関連付けて理解している。
2. 児童・生徒、教員、保護者等と意思の疎通、連携、協力ができるコミュニケーション能力、ICT 能力を身につけ、体系的、構造的に理解している。
- 汎用的技能** 1. 専門的な知識、技能を十分に活用して、教育の場で課題を解決する確かな実践力と研究力を有している。
2. 一人一人の特性を理解し尊重しながら、育ちを支え、体と心の健康、安全を守ることができる。
- 態度・志向性** 1. 児童・生徒の立場に立ってその気持ちを受容し、理解し、共感しようとする態度を身につけている。
2. 養護教諭の役割と責任を認識し、自ら成長し向上して責任を果たそうとする情熱と意欲を持ち、社会への奉仕の精神、人に対する優しさと思いやりを身につけている。



入学者受入れの方針【アドミッション・ポリシー（A P）】

子ども健康学専攻は修了方針および教育課程編成・実施の方針（C P）に基づき、教育・保健学に根ざした専門性の高い子どもの成長・発達を追求します。

入学者には次のような人を求めます。

1. 短期大学等で、子どもの心身の健全な成長・発達および子育てに関する基礎的な知識を身につけている。（知識・技能）
2. 児童・生徒の発達段階をサポートするために必要な論理的思考力および表現力を持つとともに、課題解決力を持っている。併せて、教育・保健学領域に深い関心を持ち、養護教諭として働くことに熱意を持っている。（思考力・判断力・表現力）
3. 養護教諭として、他の教員と連携し、児童・生徒の成長を支援するとともに、地域・社会に貢献しようとする意志を持っている。（主体性・協働性）